

ROUND TABLE DISCUSSION

甲状腺癌ガイドラインの 改訂ポイント



座
談
会

司会

杉谷 巖

日本医科大学内分泌外科教授

岡本 高宏

東京女子医科大学外科学(第二)教授

小野田 尚佳

大阪市立大学大学院医学研究科腫瘍外科学准教授

伊藤 康弘

医療法人神甲会隈病院治験・臨床試験管理センター科長

貴田岡 正史

公立昭和病院内分泌・代謝内科部長

出席
(発言順)

現在、国内外の甲状腺癌ガイドラインの改訂版が公表、または改訂作業が行われており、その動向が注目される。そこで、本座談会では現在改訂作業が行われている本邦の『甲状腺腫瘍診療ガイドライン』の方向性について、また改訂版が公表された米国甲状腺学会(ATA)ガイドラインの改訂ポイントについて、エキスパートの視点から解説いただいた。さらに、日本におけるエビデンス構築の取り組みや甲状腺癌の診断に関するトピックスについても討論いただいた。

SAMPLE